資料③

第２回教育大綱・教育振興基本計画策定委員会で出された意見（抄）

と き：令和２年 10 月 14 日（水）10:00～12：00
ところ：鳥取市役所７階 第２委員会室

①「ふるさとを思い　志をもつ子」という表現は大人もモデルになるということを含めて“子”という言葉を使っているのか。（すべての世代の人の教育を重視するのであれば、文言を修正する必要があるのではないか。）

②現在、社会福祉士の資格は職場の理解がなければ取得が難しい。社会教育士の資格を取得できるような環境を、さらには前向きに職員が向かえるようなインセンティブを、処遇面等で考えてほしい。

③大綱が完成したら、公民館研修等で社会教育とは何か、何をすべきかということを伝える場を設けてほしい。

④学校の中に地域と学校をつなげていく人材が必要。そういった教員の研修、養成が必要。学校教育の中でも力を入れてほしい。

⑤実際に災害が起きた際には、通信手段や交通手段が通常のように機能しない可能性がある。引き渡し訓練がどこまで実効あるものにできるのかという思いがある。指標値の考え方が今のもので良いのか再度検討してほしい。

⑥施策の推進する目標と、評価・指標というのがしっかり合っているのかということを吟味してほしい。質の向上を狙うのか、裾野を広げるのか、何を目指すかによって、指標・目標が変わってくるのではないか。

⑦現場の個々の職員に大綱の内容がしっかり伝わっていないのではないか。今回の大綱の内容がしっかり伝わるような仕組みを考えてほしい。

⑧文化財が充実していても、利活用しなければ意味がない。学校教育を通じて文化財に触れる機会の補助をしてほしい。

⑨小中学校を中心とした施策を組み立てているが、幼・保・小連携、学校校種間の連携についても大綱の中に盛り込むべきではないか。

⑩キャリアと子どもたちの主体的な動きと、ふるさととのかかわりという部分をつなげていきたい。子どもたちが行動を通して、役に立ったという実感や、ふるさとのことを考えて自分たちが貢献できたというような感覚をもつことができるよう、何か一歩進んだ形に編成していけるとよいのではないか。

⑪SNS の扱い方について、子どもだけでなく、保護者も一緒に学習できる場をつくってほしい。

⑫一部ではあるが、教員の不祥事に関するニュースが多くなっている。教員の内面的な教育、健康管理、メンタルケアについても今後重要になってくるのではないか。

⑬ICT 活用教育を進めていくうえで、教師の指導力をはぐくむ教員研修が必要ではないか。